





カエデ  
**kaede**

## 第28回全国都市緑化かごしまフェア

### 桜島を望む壮大なロケーションで 亜熱帯植物など940種がお出迎え

全国都市緑化かごしまフェア（通称・花かごしま 2011）が3月18日から5月22日まで、メイン会場の吉野公園とサブ会場の鹿児島ふれあいスポーツランドをはじめ、鹿児島市市街地や県内外の協賛会場・回遊拠点など、鹿児島全域をあげて開催され、南国の植栽で来場者の目を楽しませた。

メイン会場の吉野公園では桜島を望む壮大なロケーションを生かし、桜島を借景にしたダイナミックな展示をはじめ、鹿児島の懐かしい農村風景を再現した「暮らしの庭」や、鹿児島の島々を箱庭で表現した「島の華園」といった地域の特色を生かした展示が盛りだくさんだった。



桜島とイメージキャラクター「ぐりぶー」がお出迎え  
(メイン会場の吉野公園)



国土交通大臣賞 桜島に見える庭／(術)宮里建設

桜島の溶岩を配した岩肌が大ワシが舞い降りる力強い作品。桜島を借景にした構図が素晴らしい



島の華園。パンジーやネモフィラの青い海に島々を形どった庭が浮かぶ。

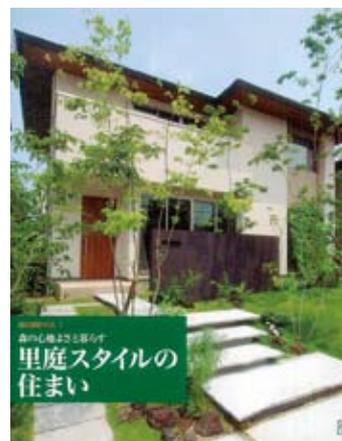
## 新刊

### 「森の心地よさと暮らす里庭スタイルの住まい」

住友林業緑化株式会社（編）

四季の移ろいが感じられる里山の雑木を使った「里庭」。本書では、そんな森の心地良さを感じられる里庭の実例を、豊富な写真とともに紹介している。緑のちからで心地良い住まいを実現した庭／住まう空間を美しく彩る庭／五感で楽しむ庭／緑豊かなアプローチの庭／ゲストを楽しませる小庭一など、シーン・目的別に、数々の具体的な実例を紹介。また、庭コラムや樹木カタログも充実しており、心地良い庭づくりを目指す人に。

判型 A4判変型 128頁  
価格 1600円+税  
発行 草土出版





## 大阪梅田にアーバングリーンラボ

### 竹中庭園緑化が開設

植物を通じて人々の生活を豊かにする室内緑化の新しい仕掛けを一。再開発が進む大阪・梅田に4月、注目すべきインテリアグリーンの情報発信スペースが誕生した。「アーバングリーンラボ」は、「都市の室内緑化」をメインテーマに、植物と人々とのかかわりについて研究し、新たなモノづくりを展開するスペースだ。

大阪市北区小松原町2-4  
大阪富国生命ビル4F



## 世界らん展日本大賞に須和田農園のピュアホワイト

21回目となる「世界らん展日本大賞 2011」が2月、東京ドームで開催された。日本大賞の栄冠には、須和田農園・江尻光一さんのセロジネ・クリスタータ・ホロレウカ「ピュアホワイト」が輝き、訪れた約19万7千人の来場者を魅了した。

大賞のピュアホワイトは、通常はリップ中央部が黄色となるセロジネ属クリスタータの中にあって、花全体が美しい純白になる変種。約2千輪の花をバランスよく咲かせる直径1.8mの大株に、一般のラン愛好家らは感嘆の声を上げていた。

江尻光一さんは、5月6日逝去された。享年84歳。



## 会員紹介

### 片山園芸

兵庫県の中部に位置する丹波市で、花壇苗の生産をしております、片山園芸 片山直人と申します。よろしくお願ひします。

丹波地域の気候、昼夜の気温差を利用して、他生産者に負けない商品作りを目指しております。

秋はガーデンシクラメンと葉牡丹がメインですが、脇役的なアイテムも模索中です。

アイテム以外にも、「仕立て」や「見せ方」「売り方」など、工夫出来る所が沢山あるのですが、私自身が未熟の為、今年も試行錯誤中です。

そんな私ですが、この会を通して色々な方の意見や考えを勉強させて頂き、仕事に取り入れて行きたいと思っておりますので、どうぞよろしくおねがいします。

〒669-3622  
兵庫県丹波市氷上町三原445  
ケータイ 090-3945-0797  
F A X 0795-82-3157  
片山直人(片山園芸)





## 消費者をその気にさせることが課題

先日、出張の折に関東のとあるホームセンターに立ち寄る機会がありました。平日の昼間ということもあり、やや少な目の客数で、60代以上の年齢層が圧倒的でした。外の花木売場から観葉植物のある店内に入った時、壁面にずらりと並んだ見事な胡蝶蘭などが目に飛び込んできました。壁面いっぱいには整然と陳列され、その前には、30代くらいの女性客が見上げるように商品を眺めていました。商品はどれも管理が行き届いており、その存在感をアピールしていました。当時は何人かの植物生産者のお客様と同行していましたが、そのうちの2人が、『これは上手に育てたやつだな〜』と同じ売場に近付いてきました。『これでこの値段?』『安くないか?』と話をしているうちに1人の方が『おい!これ造花じゃないか!』と苦笑交じりに言われたのです。

花に触れてみると確かに造花です。壁面の棚に陳列されたものは全て造花でした。造花もここまで本物に近く作られてしまうと、その技術に感嘆すると同時に、この業界に携わる者としては悔しい思いも少なからず感じました。

ライフスタイルの変化と共に消費者の価値観も変化をしていきます。価値観は外からの情報から変わっていくものだと思います。造花業界の人達もこの時代の消費者に向けて猛烈なプロモーションをして支持を得ようとしているのでしょう。私達のこの業界も一致協力をして【本物を育てる喜び】という価値を消費者に見出してもらえそうな発信をして、もっとその魅力を伝えることが必要ではないかと思えます。当社も情報の収集や発信にも積極的に取組み、業界発展に貢献できる活動をしていきたいと考えています。

最後になりましたが、この度の震災で被害を受けられた方々に対し、心よりお見舞い申し上げるとともに、1日も早い復興を願っております。



株式会社東海化成  
記野 昌彦

## 生産者部会より

### ダリア・マキシシリーズ

震災の影響で春を感じる余裕すらなかった今年、いつの間にか夏がすぐそこまでやっています。昨年のような猛暑はご容赦願いたいですが、夏は暑くあるべきだと思います。

そんな暑い夏の必須アイテム、ダリア・マキシシリーズ。大輪で八重咲きのマキシシリーズは花持ちも良く、次から次へと開花するので、盛夏でも花が休みにくく、夏のガーデンニングに最適です。花色もはっきりしたものが多く、トロピカルな気分を演出します。

暑い夏は南国気分でご過ごしてみませんか?

初見園芸 (関東支部)

